

株主のみなさまへ

2008 会計年度においては、多数の重要な経営指標が全般的に改善しました。年次ベースでは、売上総利益が 1.3 ポイント上昇、営業利益が 6300 万ドルの増加、製品およびサービスの前受利益が 8 %増加して 29 億ドルとなりました。期末時点での営業活動からのキャッシュフローは 3 億 7100 万ドル増加して 13 億ドルに達しました。また、当会計年度中に 1 億 5100 万株の自社株買いを行い、購入金額の合計は 27 億 6000 万ドルとなりました。

一定の成果を上げたものの、2008 会計年度は Sun にとって困難な年であったといえるでしょう。当初の計画通りに売上高や営業利益を増やすことはできませんでした。通年での売上高は、世界全体では増加したものの、米国では 8 %の減少となったため、2007 会計年度比でわずかの増加となりました。

米国のマクロ経済環境の悪化がお客様に影響し、特に、会計年度後半において当社の売上高の増加を妨げたことに疑問の余地はありません。当社が伝統的に重点を置いていた電気通信および金融サービスなどの産業セグメントが特に大きな影響を受けたため、当社の直面する困難もより大きなものとなりました。

先に述べたとおり、米国以外の大多数の国々では、売上高が成長、増加しました。欧州、中東およびアフリカでは年次ベースで 5 %、アジア太平洋地域では同 3 %、米国を除く南北アメリカでは同 16%の成長を達成しました。より具体的には、2008 会計年度には新興市場の成長が加速し、ブラジルでは 20%、ロシアでは 12%、インドでは 27%、グレーターチャイナでは 13%の成長を達成しました。

当社では今年度の営業成績に満足しておらず、第 4 四半期中には、R&D リソースを高い成長が見込まれるお客様およびマーケットセグメントに振り向けられるよう、事業再編を開始しました。また、より健全なユーザーおよびデベロッパーのコミュニティーが存在し、大きな事業機会と成長が見込まれる新興市場へとセールスリソースをシフトさせています。

困難な環境に直面したものの、戦略的なパートナーシップという点において、2008 年度は大きな節目の年となりました。まず、IBM に対してオープンソースの Solaris™ 10 OS を OEM 供給し、同社がこれを x86 サーバに搭載して販売することを発表しました。これに続いて、Dell との複数年の OEM 契約を締結し、Dell 顧客への Solaris OS およびサポートサービスの直接提供が可能となりました。Intel とのパートナーシップには、2007 年 1 月以降に Solaris OS を OEM 提供するライセンスが含まれ、当社初のクアッドコア Intel Xeon® プロセッサシステムの導入へとつながりました。x86 サーバについては、2008 会計年度にブレードサーバ関連の売上が大幅に増加しました。

また、2008 会計年度は、将来の成長のための Sun の位置付けに重要な役割を果たす節目の年でもありました。最も注目に値するのは、MySQL™ の買収でした。MySQL は最も急速な成長を遂げているオープンソースデータベースのひとつであり、インターネット上で最大規模のユーザーおよびデベロッパーのコミュニティーを擁しています。この買収により当社は、特別なブランドを獲得し、LinkedIn などの高い成長率を誇る多数の Web プレーヤーや、Virgin Mobile France などのデータベース革新を求める従来型の企業を含む顧客ベースへのユニークな市場アクセスを実現しました。これらのお客様は、Web 上のデータセンターインフラの顧客の中で最も成長率が高く、オープンソースのソフトウェア、サーバ、ストレージおよびネットワークを購入しています。

当社にとってもう一つの節目は、当社がリーダーシップをとり続けてきたチップ・マルチスレッディング (CMT) システム分野における UltraSPARC® T2 マイクロプロセッサの発表です。このコモディティマイクロプロセッサには 8 個のコアが搭載され、コア 1 個当たり 8 スレッドの処理が実行されます。また、当社では、UltraSPARC T2 プロセッサを使用する最初のエンタープライズサーバとして、SPARC Enterprise™ T5120 および T5220 サーバを発表しました。CMT テクノロジーは、当社で最も高い成長率を誇り、2008 会計年度には 84%の成長を遂げたサーバラインを代表するものです。

当社の技術革新に対して、今年度も多数の企業や団体などから賞賛が集まりました。その中でも、InfoWorld 誌の 2008 年「テクノロジーオブザイヤー賞」を 3 部門で受賞し、Solaris 10 が最も革新的なサーバ OS、Solaris ZFS™ が最優秀ストレージファイルシステム、Sun Fire™ X4500 が最優秀ストレージサーバとして評価されたことは特筆に値するでしょう。

また、当社の社会的責任に対する持続的な取組も評価されており、Fortune 誌の 2008 年「最も

尊敬される企業」ランキングでコンピュータ企業として第5位に選ばれました。Ethisphere Magazine 誌でも、「世界で最も倫理的な企業」として、コンピュータハードウェアカテゴリで3社の内1社に選ばれました。この分野に関しての当社の取組についてさらに詳しく知りたい方は、Corporate Social Responsibility Reportをお読みいただくか、次のサイトを参照してください：sun.com/aboutsun/csr/。

2009会計年度に目を転じると、売上および収益の成長は引き続き最優先事項であり、これらの目標を達成するため、重要な分野における計画の実行と投資を行ってまいります。第一に、成長機会をさらに活用するため、新興市場へのリソースの投入を増やします。第二に、パートナーとの協力の下、重要なソフトウェアおよびシステム資産を利用して新規顧客の獲得に重点を置きます。第三に、当社では、高性能コンピューティング、ビジネスインフラおよびグローバルWeb構築を含む革新を結びつける重要な市場セグメントをサポートするために、製品開発活動の連携を図ります。第四に、当社のシステムにおいてオープンソフトウェアプラットフォームの最適化を続け、販売促進につなげます。エンタープライズ顧客は引き続き厳しい経済環境に直面しており、合理化、データセンターの効率性向上、電力消費の低減、仮想化などの重大な障害に対処するため、オープンでエネルギー効率の高いソリューションを求めています。そのため、オープンソーステクノロジーの商用利用に対する魅力が高まっているのです。

これらの4つの分野における来年度の当社の取組については、私のブログや、当社の四半期報告等で最新の進捗状況をご覧ください：www.sun.com/investors。

おわりにあたって、株主、従業員、お客様ならびにパートナーのみなさまの変わりないご支援に感謝いたします。Sunは、データセンターのあらゆる側面におけるオープンソース革新のカテゴリーリーダーであり、持続的な技術革新、最も成長率の高い市場セグメントへのリソースの投入、経営効率の一層の向上を通じて、最も大きな利益の享受者であり続けてまいります。

敬具

[Signature]

Jonathan Schwartz

社長兼 CEO

Sun Microsystems, Inc.

blogs.sun.com/jonathan